

令和3年度

埼玉学園大学公開講座のご案内

テーマ:さいたま学のすそ野

	各講のタイトルと内容	講師、専門分野
第1講	サキタマの立地と古代・中世 荒川や入間川などの河川によって形成された地理的、あるいは風土的環境を再確認しつつ、原始古代から中世までの考古学的遺跡の検討を通じて、この地で人々がどのような歴史を紡いできたかを概観します。	湯浅 吉美(人間学部 教授) 博士(史学) 日本古代・中世史 寺院所蔵文献資料の調査・研究、天文・暦法の復元的研究
第2講	古典文学と武蔵野 いにしえびとは、武蔵野に対してどのようなイメージを抱いていたのでしょうか。『万葉集』や『伊勢物語』など様々な古典文学作品を通して、人々の心に宿っていた「武蔵野」の世界をのぞいてみましょう。	穴井 潤(人間学部 講師) 博士(文学) 日本古典文学 和歌文学、平安後期の和歌および私家集の編纂意識の研究
第3講	水上勉の浦和時代 1961年、42歳で直木賞を受賞するまで、職や住まいを転々としていた水上勉が浦和に住んだのは、1947年からの約2年間。のちの創作にも繰り返し書かれている、彼の浦和時代の意味を考えるとともに、文学における「虚」と「実」の問題に迫ります。	掛野 剛史(人間学部 教授) 博士(文学) 日本近代文学 横光利一、水上勉や出版メディアと文学の関係について研究
第4講	ポップカルチャーに見る「翔/飛んで(る)埼玉」 漫画を原作とする映画『翔んで埼玉』(2019年)は予想外の大ヒットを記録しました。県のイメージを描くテレビや雑誌、ネット記事、歌も人気ですが、県民性とは何なのでしょう。ポップカルチャーに表現される埼玉の県民性を考えます。	岡田 正樹(人間学部 講師) 博士(文学) メディア文化論、ポピュラー音楽論 音楽に関わる営みを媒介する場としてのネットや都市の研究

- (1) 申込期間:令和4年1月5日(水)~1月28日(金)
- (2) 配信期間:令和4年2月4日(金)~2月28日(月)
- (3) 定員:なし
- (4) 受講料:無料
- (5) 受講方法:申し込み後にお知らせするURLにアクセスして、自由に視聴していただけます。
- (6) テキスト:資料を電子データにて配付します。
- (7) 申込方法:本学のホームページ(公開講座予約フォーム)よりお申し込みください。



【お問い合わせ先】

埼玉学園大学 公開講座係

TEL:048-294-2111

WEB:<https://www.saigaku.ac.jp/extension/>